

令和元年度（平成31年度）当初予算目的設定一覧表

事業名	課室名	政策名	施策名	施策目標名
健やか秋田っ子育成支援事業	保健体育課	ふるさとの未来を拓く人づくり戦略	豊かな人間性と健やかな体の育成	生涯にわたってたくましく生きるための健やかな体の育成
大曲高等学校整備事業	総務課施設整備室	ふるさとの未来を拓く人づくり戦略	子どもの成長を支える魅力的で良質な学びの場づくり	質の高い学習の基盤となる教育環境の整備
ミュージアム活性化事業	生涯学習課	ふるさとの未来を拓く人づくり戦略	地域を元気にする住民参加の学びの場と芸術・文化に親しむ機会の提供	良質な芸術・文化体験機会の充実と文化遺産の保存・活用
社会教育施設改修事業	生涯学習課	ふるさとの未来を拓く人づくり戦略	地域を元気にする住民参加の学びの場と芸術・文化に親しむ機会の提供	良質な芸術・文化体験機会の充実と文化遺産の保存・活用

事業コード	06070213	政策コード	06	政策名	ふるさとの未来を拓く人づくり戦略
事業名	ミュージアム活性化事業	施策コード	07	施策名	地域を元気にする住民参加の学びの場と芸術・文化に親しむ機会の提供
部局名	教育委員会	指標コード	02	施策目標(指標)名	良質な芸術・文化体験機会の充実と文化遺産の保存・活用
	課室名 生涯学習課	班名	生涯学習・学芸振興班	(tel) 5183	担当課長名 中山 恭幸
					担当者名 小野寺 康

評価対象事業(計画)の内容 事業年度 平成31年度 ~ 平成35年度

<p>1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか)</p> <p>県立美術館・近代美術館・博物館を文化・芸術の発信地として、児童・生徒をはじめとする多くの県民に親しまれる施設にするとともに、多くの県民が各館を訪れることで、地域のにぎわい創出にも貢献できるように取り組んでいく必要があるため。</p>	<p>3. 事業目的(どういう状態にしたいのか)</p> <p>文化・芸術の発信拠点として魅力ある展覧会や関連するワークショップ等事業を開催し、児童・生徒及び県民に利用いただき、地域のにぎわい創出に貢献する。</p> <p>(重点施策推進方針との関係) 重点事業として要望 その他事業として要望</p>
<p>2. 住民ニーズの状況</p> <p>ニーズを把握した対象 受益者 一般県民 (時期: 年 月)</p> <p>ニーズの把握の方法 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット その他の手法 (具体的に) ニーズの具体的内容</p>	<p>4. 目的達成のための方法</p> <p>事業の実施主体 県</p> <p>事業の対象者・団体 各館入館者、利用者</p> <p>達成のための手段</p> <p>・県とマスコミ等で組織した実行委員会で展覧会を開催することで、より充実した展示内容と、広報の充実を図る。 ・学校や近隣施設との連携を図り、広く利用者の増加を目指す。</p>
<p>把握してない場合の理由及び今後の方針</p> <p>理由</p> <p>今後の方針</p>	

比較した代替手段及び選択した手段の有効性

・マスコミと連携することにより、広く情報を発信することができる。 ・学校や近隣施設に働きかけることによって、より多くの観覧者を得ることができる。

5. 事業の全体計画及び財源		単位(千円)							
順位	事業内訳	左の説明	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	全体(最終)計画
01	特別展開催事業	県立美術館・近代美術館・博物館における展覧会の実施	49	49	49	49	49		
財源内訳		左の説明	49	49	49	49	49		
	国庫補助金								
	県の債								
	その他								
	一般財源		49	49	49	49	49		

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 児童・生徒数をはじめとする県民人口減少が続く中、入館者数の減少を減らすことができる。

指標	指標名	3館の年間入館者数						指標の種類	
	指標式	美術館、近代美術館、博物館の年間入館者数の合計						成果指標 業績指標	
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	最終年度
	目標a			310,000	310,000	310,000	310,000	310,000	
	実績b	データ等の出典							
	東北 全国	利用統計							

把握する時期 当該年度中 月 翌年度 04月 翌々年度 月

指標	指標名							指標の種類	
	指標式							成果指標 業績指標	
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	最終年度
	目標a								
	実績b	データ等の出典							
	東北 全国								

把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月

指標を設定することができない場合の効果の把握方法
指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性
各館をより多くの児童・生徒及び県民に親しまれる施設とするために、学校や地域、周辺施設等と連携した取り組みを推進するとともに、魅力ある特別展を開催する必要がある。

住民ニーズに照らした事業の必要性
児童・生徒及び多くの県民が集まるにぎわい創出の場として、魅力ある展示やイベントなどを実施する必要がある。

事業の県関与の必要性
法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの
民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの
県が関与し、学校や地域等、様々な関係機関と連携を図り、魅力ある展示事業を実施することが必要であるため。

政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定

重点事業 その他

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 県立美術館及び県市連携文化施設と連携した中心市街地のにぎわい創出に寄与する。

指標	指標名								指標の種類
	指標式								成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	最終年度
	目標a								
	実績b			データ等の出典					
	東北								
	全国								
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月									

指標	指標名								指標の種類
	指標式								成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	最終年度
	目標a								
	実績b			データ等の出典					
	東北								
	全国								
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月									

指標を設定することができない場合の効果の把握方法
 指標を設定することが出来ない理由
 本事業は、各種法令基準への適合に向けた改修工事の経費の一部を補助するものであり、指標設定はなじまないものである。

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)
 事業目的の効果把握は、建築基準法等、改修工事における工事完成検査において確認され、施設が供用されることにより確認できる。

事業の必要性	
現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性	普通財産として管理している公有財産の有効活用並びに県立美術館及び県市連携文化施設と連携した中心市街地のにぎわい創出に寄与する。
住民ニーズに照らした事業の必要性	県都秋田市における象徴的な建造物として利活用を求める県民の声に応えるとともに、引き続き芸術文化施設として活用されていくものである。
事業の県関与の必要性	法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの
	県が秋田市へ利活用を要請し、さらに譲渡物件として各種法令基準を満たしていない状況を改善するための補助事業である。

	政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定

重点事業 その他

事業コード	06040301		政策コード	06	政策名	ふるさとの未来を拓く人づくり戦略			
事業名	健やか秋田っ子育て支援事業		施策コード	04	施策名	豊かな人間性と健やかな体の育成			
部局名	教育委員会	課室名	保健体育課		指標コード	03	施策目標(指標)名	生涯にわたってたくましく生きるための健やかな体の育成	
			班名	健康教育・食育班		(tel)	5203	担当課長名	高橋 周也
								担当者名	池田 寿志

評価対象事業(計画)の内容

事業年度 平成31年度 ~ 平成33年度

1.事業立案の背景(施策目標の達成のためになぜこの事業が必要なのか)
 近年社会環境の急激な変化は、子どもたちの心身の健康に様々な影響を与えており、健康課題も多様化・複雑化してきていることから、生活習慣や食習慣の乱れが懸念されている。また、学校における食育の推進とともに、学校給食における食中毒事案の発生や食物アレルギーへの適切な対応も含め、衛生管理等の徹底による再発防止に努めることが求められている。こうしたことから、学校における健康課題解決や食育を推進するため、学校・家庭・地域の実情を踏まえ、関係機関及び医療関係者等との連携による支援体制づくりや、衛生管理等についての指導強化が必要である。

2.住民ニーズの状況
 ニーズを把握した対象
 受益者 一般県民 (時期: H28 年 07 月)
 ニーズの把握の方法
 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット
 その他の手法 (具体的に)

健康課題の解決や食育の推進を図るため、学校・家庭・地域の連携による支援体制づくり。安全で安心な学校給食の提供。

3.事業目的(どういう状態にしたいのか)
 生涯にわたって、たくましく生きる健やかな子どもを育成するため、望ましい生活習慣や食習慣の確立を図る。
 (重点施策推進方針との関係) 重点事業として要望 その他事業として要望

4.目的達成のための方法
 事業の実施主体 県
 事業の対象者・団体 児童生徒等
 達成のための手段
 有識者等との協議による提言等の周知や推進地域を指定し、学校・家庭・地域の実情を踏まえ、関係機関及び医療関係者等との連携による課題解決に向けた体制づくりの支援と成果の共有。学校給食施設の衛生管理訪問指導と各種研修会の開催。

比較した代替手段及び選択した手段の有効性
 子どもたちの健康課題が多様化・複雑化している中、食習慣の乱れが懸念されているため、望ましい生活習慣の確立により生涯にわたって逞しく生きる健やかな子どもの育成が求められている。こうしたことから学校・家庭・地域の実情を踏まえ、関係機関及び医療機関等との連携による支援体制づくりや、衛生管理等についての指導強化は非常に有効である。

把握していない場合の理由及び今後の方針

理由

今後の方針

5.事業の全体計画及び財源 単位(千円)

順位	事業内訳	左の説明	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	全体(最終)計画
01	秋田っ子供健康教育充実事業	学校等における児童生徒等の健康課題の解決に向けた取組を支援する	1,943						
02	秋田っ子供食育推進事業	学校給食施設の衛生管理の徹底を図る。児童生徒等の食物アレルギー対応方法を周知する。	655						
財源内訳			2,598						
国庫補助金			338						
県の債									
その他									
一般財源			2,260						

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 undefined

指標	指標名	朝食を毎日とる児童の割合（小学校5・6年生）	指標の種類
	指標式	朝食を毎日とる児童数 ÷ 調査した児童数 × 100	成果指標 業績指標

年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
指標	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	最終年度
目標a		95		95		95		
実績b	90.5	データ等の出典						
東北	児童生徒のライフスタイル調査（保健体育課）							
全国								
把握する時期 当該年度中 02月 翌年度 月 翌々年度 月								

指標	指標名		指標の種類					
	指標式		成果指標 業績指標					
年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
指標	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	最終年度
目標a								
実績b		データ等の出典						
東北								
全国								
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月								

指標を設定することができない場合の効果の把握方法
 指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性

住民ニーズに照らした事業の必要性

事業の県関与の必要性
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
-----------	-----------------------

	重点事業 その他
--	-------------------------------

事業コード	06050121	政策コード	06	政策名	ふるさとの未来を拓く人づくり戦略							
事業名	大曲高等学校整備事業		施策コード	05	施策名	子どもの成長を支える魅力的で良質な学びの場づくり						
部局名	教育委員会	課室名	教育庁総務課施設整備室		指標コード	01	施策目標(指標)名	質の高い学習の基盤となる教育環境の整備				
		班名	施設・管財班		(tel)			担当課長名	俵谷 浩	担当者名	佐野 浩一	
評価対象事業(計画)の内容												
1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか) 現校舎については、建築後45年以上が経過し、老朽化が著しいことから安全・安心な教育環境を再整備する必要がある。					3. 事業目的(どういう状態にしたいのか) 大曲高等学校の現敷地に新校舎をk年馳駆する。 (重点施策推進方針との関係) 重点事業として要望 その他事業として要望							
2. 住民ニーズの状況 ニーズを把握した対象 受益者 一般県民 (時期: H28 年 12 月) ニーズの把握の方法 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット その他の手法 (具体的に 学校関係者からの要望) ニーズの具体的内容 平成28年12月に学校関係者から校舎整備の要望書が提出された。					4. 目的達成のための方法 事業の実施主体 県 事業の対象者・団体 在校生、今後入学予定者、現地住民 達成のための手段 校舎等の改築。 比較した代替手段及び選択した手段の有効性 現在地での改築は、他所への移築と比較して費用が低減されると判断した。							
把握してない場合の理由及び今後の方針												
理由												
今後の方針												
5. 事業の全体計画及び財源 単位(千円)												
順位	事業内訳		左 の 説 明			31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	全体(最終)計画
01	大曲高等学校整備事業		基本・実施設計			110,972	212,165					
財源内訳		左 の 説 明			110,972	212,165						
国庫補助金												
県債		臨時高等学校債			99,500	150,400						
その他												
一般財源					11,472	61,765						

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果		今後の安全・安心な学校生活を確保できる。							
指標	指標名							指標の種類	
	指標式							成果指標 業績指標	
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	最終年度
	目標a								
	実績b			データ等の出典					
	東北 全国								
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月									
指標	指標名							指標の種類	
	指標式							成果指標 業績指標	
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	最終年度
	目標a								
	実績b			データ等の出典					
	東北 全国								
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月									
指標を設定することができない場合の効果の把握方法									
指標を設定することが出来ない理由									
校舎等を改築する事業であることから、効果は完成後に現れるものであるため。									
見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)									
教育環境の整備及び教育機能の充実により、特色のある教育活動が可能となる。									

事業の必要性	
現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性	校舎の老朽化が著しい。
住民ニーズに照らした事業の必要性	多様な学習ニーズに対応する環境が求められている。
事業の県関与の必要性	法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの
	県立学校であり、県が整備する必要がある。

政策評価委員会意見		重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
		重点事業 その他